

ハロートレーニング
急がば学べ

電気設備コース

神奈川県立
西部総合職業技術校

コース概要

・対象者	主に離転職者の方
・定員	7名
・訓練期間	6か月
・入校時期	4月・10月
・授業料	無料　※教科書代等は別途必要です。

コースの目標、強み

「電気設備コース」は、電気設備点検や、ビルメンテナンス関連職種への就職を目指し、電気に関する工事・点検及び制御に関する技術を学ぶコースです。

電気技術が必要な仕事は多く、幅広い多様な求人の中から、自分に合った仕事を選択できるのが強みです。例えば・・・

ココがスゴい！

年齢問わず就職できる求人、土日休みが多い求人、高収入の求人　などがあります。

コースの強み2

- 高い資格合格率！

国家資格の第二種電気工事士試験合格率が高く、令和7・8年度は合格率100%です。※

- 手厚い就職活動支援

入校後、早い段階から応募書類の作成など就職活動に向けた準備を行います。また、多くの企業を訪問するなど、業界研究もできます。かなテク修了生が訪問先企業での案内役を担当される場合もあり、気軽に企業と接点を持つことができます。

※令和9年度新設コースのため、旧セレクトプロダクトコース・チャレンジプロダクトコースの電気専攻の実績です。

電気技術者が活躍できる仕事（就職先）

製造業関係
- 制御盤メーカー（工場やビル等の電気設備を自動制御するための装置）
  - ・組立て　制御盤の組立て、改修工事
  - ・設計　回路設計やプログラミング、CADで製図、機器の選定 etc・・・
- その他　電気機器の製造、組立　設備保全　etc・・・

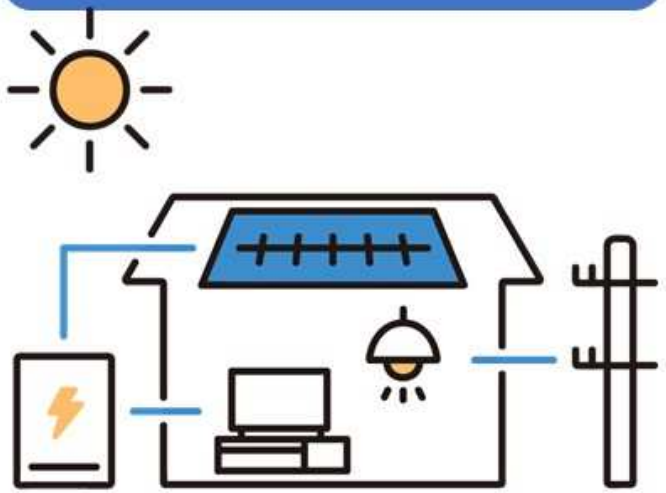
建設業関係（電気工事関係）
- ・技術職　施工管理技士（現場監督）　電気工事の施工管理をする 工程管理、品質管理等
- ・技能職　電気工事（職人）　電気工事を実際にする作業者

電気点検　高圧受変電設備等の電気設備を年次点検をする

ビルメンテナンス　商業施設などに常駐し、建物の設備管理、清掃、トラブル対応をする

その他　通信工、設備工、CADオペ　etc・・・

電気技術者が活躍できる仕事　イメージイラストⅠ

	電気で 動かす	電気を 配る	電気の 災害から守る
仕事のイメージ			
関連職種	分電盤、変電設備、制御盤等の 電気機器製造技術者 CADオペレータ　等	電気工事士 通信・ネットワーク工事士 電気工事施工管理技士 CADオペレータ　等	変電設備の点検技術者 ビルメンテナンス 設備維持管理技術者　等

電気技術者が活躍できる仕事　イメージイラスト2



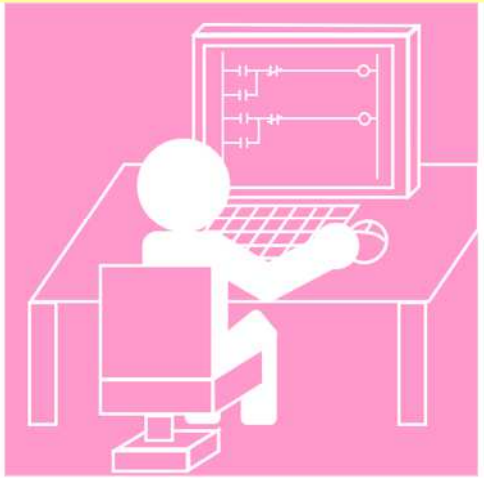
電気工事士



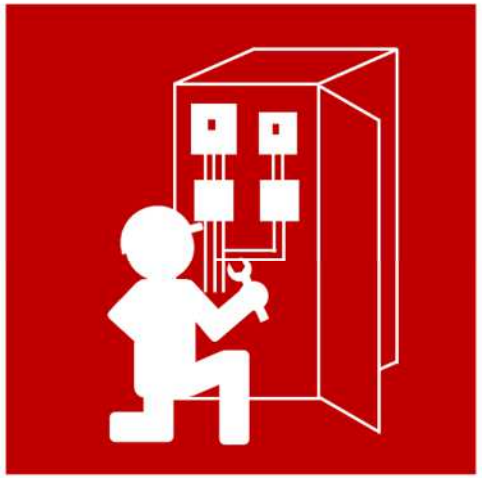
電気工事施工管理技士



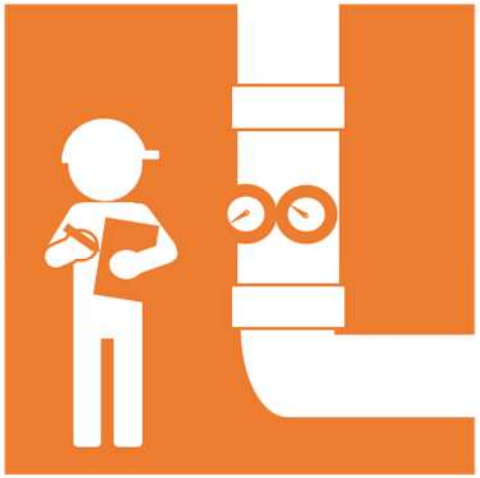
通信・ネットワーク工事士



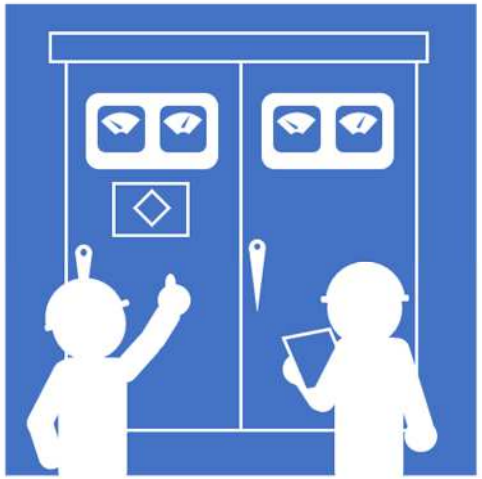
制御盤設計技術者
CADオペレーター



制御盤組立配線技術者



ビルメンテナンス

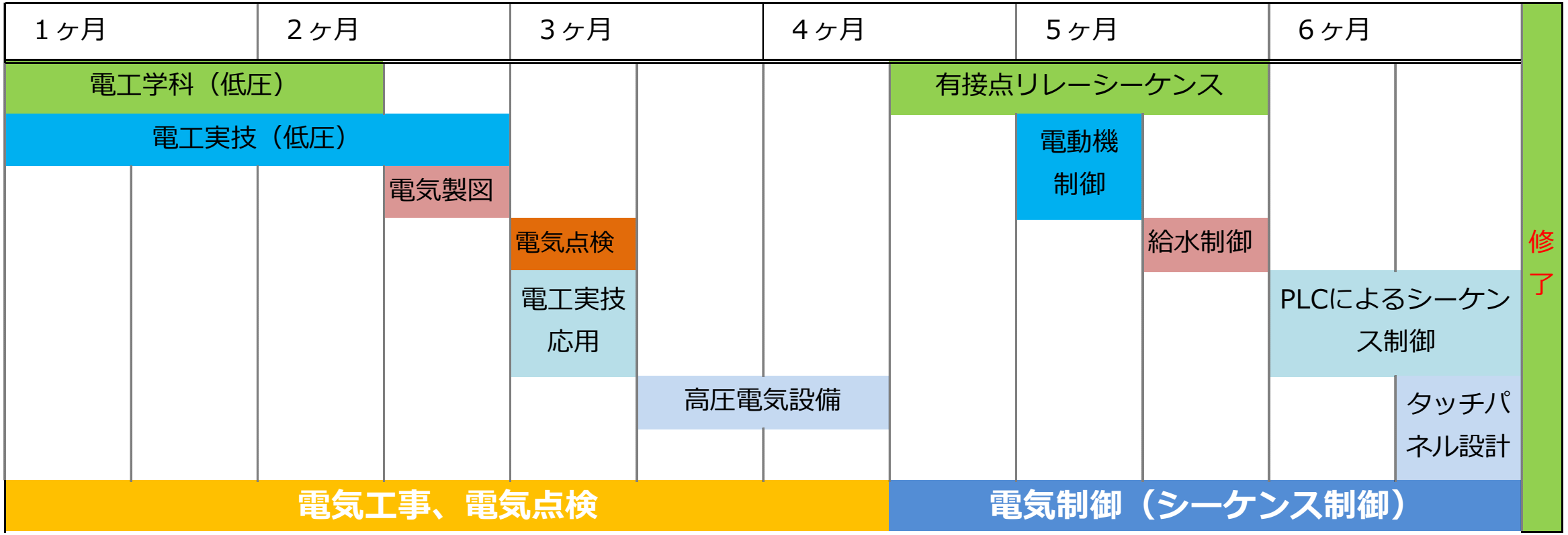


変電設備の点検技術者



Etc..

カリキュラム



※国家資格の試験日程の都合で、入校時期によって訓練の実施順番が異なります。

訓練内容Ⅰ　第二種電気工事士（電工）



殆どの電気工事では国家資格の「電気工事士」が必要となります。

電気設備の基礎知識の習得と、第二種電気工事士資格取得を目標に訓練します。

電気の知識が全く無い方も、基礎から技術指導していて、合格率は高いです。



第二種電気工事士　技能試験対策実習

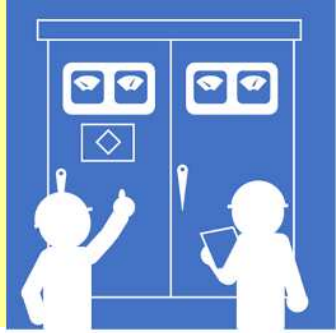
第二種電気工事士 合格率※



学科試験	R7上期	100%	（全国平均57.7%）
	R8上期	100%	（全国平均62.2%）
技能試験	R7上期	100%	（全国平均72.0%）
	R8上期	100%	（全国平均73.4%）

※令和9年度新設コースのため、旧セレクトプロダクトコース・チャレンジプロダクトコースの電気専攻の実績です。

訓練内容2　電気点検、高圧電気設備



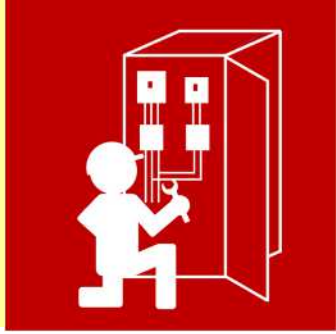
　工場やショッピングモールなどの建物の多くは高圧受変電設備と呼ばれる設備が設置されており、法令で定期的に安全が保たれているか点検する義務があります。

　電気点検の仕方及び、高圧電気設備の仕組みを理解することを目標に訓練します。



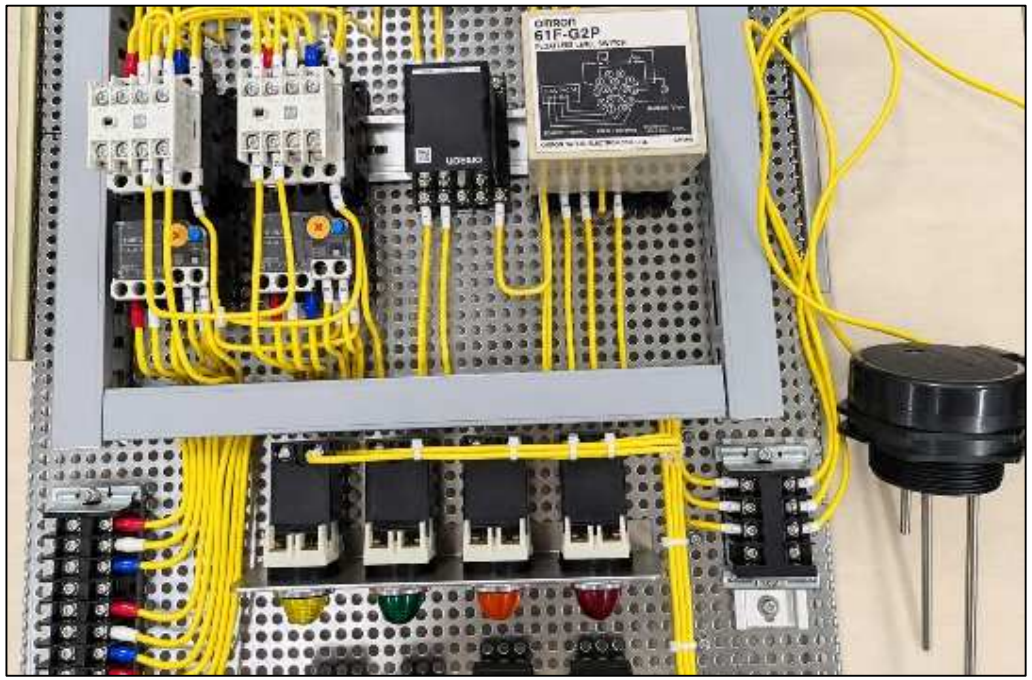
高圧受変電設備の停電操作実習

訓練内容3　有接点リレーシーケンス制御



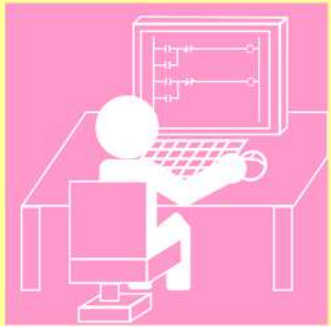
工場やショッピングモールなどの建物の様々な電気設備は、自動化装置のシーケンス制御により動いています。例えば、蛇口から水を出すための制御、空調設備の制御、高圧電気設備の制御などです。

制御回路の設計と、作製の訓練を通じて、電気設備の自動化の仕組みを理解します。



訓練で作製した給水制御の制御盤

訓練内容4　PLCによるシーケンス制御



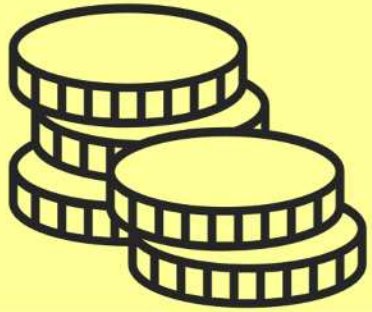
シーケンス制御は「リレー」という電気機器に配線して制御する有接点リレーシーケンスと、「PLC」と呼ばれる、マイクロコンピュータでプログラム制御する方法があります。

プログラミングやタッチパネル設計の訓練を通じて制御装置の設計方法を学びます。



訓練で作製した給水制御の制御盤
及び操作・監視用タッチパネル

訓練費用



・授業料	無料
・入校検定料	無料
・入校料	無料
・教科書・作業着	約20,000円
・資格関係	約12,000円
・訓練生総合保険料	4,900円（任意）

Q&A　電気コースとの違い



- 対象年齢が若年者向けではなく離転職者向けで、授業料が無料
- 電気コースは訓練期間１年間、入校時期が４月のみに対し、電気設備コースは訓練期間が６か月で、４月と10月の年２回入校時期がある。
- 在校中、第二種電気工事士の上位資格である第一種電気工事士試験の受験準備は行いません。

Q&A　ビルメンテナンスコースとの違い



- 想定している就職先職種はビルメンテナンスコースより多い。
- ビルメンテナンス業に特化した訓練内容ではなく、幅広い電気系の就職先を視野に入れた訓練が受講できる。
- ビルメンテナンスコースで実施しているボイラー技士、危険物取扱者、消防設備士などの電気系以外の資格取得は行いません。

Q&A　なぜ電気系コースでも ビルメンテナンス業を目指せるか



ビル設備のほとんどが電気で動作することから、ビルメンテナンスでは電気に関する技術が最重要視されており、電気系のコースからも就職実績があります。

しかし、ビルメンテナンスコースと違い、電気設備以外の訓練内容がほとんどありませんので、入社後に施設管理に関する国家資格を取得する必要があります。

指導員からのひとこと

知識が無くても自分に向いている仕事がわからなくても大丈夫です！

　ほとんどの方は未経験からのスタートですが、国家資格の第二種電気工事士を取得して、電気の専門的な仕事に就職しています。

　また、電気系の仕事は種類が多く、職務内容がまだわからない部分もあると思いますが、訓練期間中の会社見学を通じて業界研究が出来るので、入校時に進路や、自分の向き不向きが分かっていなくても問題ありません。

手に職を付けて、自分に合った仕事を探すことができます！